

『友達って最高だな！！と思えた自分』



食べ盛りの幼稚園時代

おなかすいたが口癖で、よく食べている子でした。たくさんご飯を食べて、女の子ともよく遊ぶ子どもでした。とにかくたくさん遊べたことが楽しくて、印象に残っています。小学校に上がる前は毎日が楽しみでした。

大波、小波な小学生時代

幼稚園時代に仲の良かった子にもものすごくいじわるをされて泣いてばかりの生活でした...そしてそのころ（5年生）に埼玉県に引っ越しました。引っ越すことは嫌で、悲しかったのを覚えています。新しい学校では、わりとすぐ生活に慣れ、友達もたくさんできました。楽しかったし、嬉しかったです！！

暗黒すぎた中学校時代

勉強の内容が一段と難しくなったことや、コロナ禍で行事等の制限が重なったこともあり、精神的・体力的に疲れ果ててしまいました。中学2・3年生の頃には不登校になり、学校に行こうとすると頭痛や腹痛が出るなど、体調も良くない日々が続きました。高校進学については中2の後半から考え始め、両親に紹介してもらった学校の中から「ここならいいかな」と思える場所をいくつか見つけました。実際に自分でも見学に行って進学先を決めましたが、中学時代全体を振り返ると、楽しい思い出がほとんどない、まさに「暗黒」の時期でした。

友に出会えた高校時代

高校に入ると生活が一変し、自分を取り戻すことができました。新しい環境にも次第に慣れ、気の合う友達、話の合う友達がたくさんできました。もちろん、ときには「行くのが面倒だな」と感じる日もありましたが、そんなときでも友達の存在が大きな支えとなり、休まず通い続けることができました。友達と一緒に過ごし、学校生活を楽しめたことは、私にとって大きな自信になりました。学校の担任の先生の言葉にも何度も救われ、友人や先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

私にとってのティーンズとは？・ティーンズのスタッフへ一言

スタッフの皆さんとどんなことでも話すことができ、とても安心できる場所でした。ここで過ごす中で、一歩ずつ社会人になるための心の準備を整えることができましたと感じています。ありがとうございました！

T・Fさん

小学校：支援級、通常級⇒中学校：通常級⇒高校：特別支援学校⇒就職

利用時期：2024年～2026年3月 参加プログラム：週1日の個別セッション・お仕事体験

TEENSで行っていたこと：学習、スタッフとの近況報告、ビジネスマナーについて
